

# 亀岡大郎の トップ対談



経済評論家 亀岡大郎氏

★プロフィール  
★大正15年京城生まれ。新大阪新聞経済部長を経て経済評論家となる。文芸春秋、サンデー毎日など一流誌で、経済・財界問題を中心に、精力的な活動を続ける一方で「自動車戦争」「ゲリラ商法」「IBMの人事管理」などベストセラー多数。

## 代々受け継がれた土地で 不動産賃貸業を始める

亀岡 前職は議員をやられていたと聞きましたが？  
原 私の家系は代々地主をやっております。8代目からは政治もやっております。私で12代目になるのですが、同じく政治家だった父から「お前もなれ」と言われ、神奈川県議会議員を1期だけ務めました。  
亀岡 出身はどちらですか？  
原 神奈川県川崎市です。武蔵小杉といえはわかりやすいでしょうか。

亀岡 いまではタワーマンションが多く建設されていますね。再開発によって新しい住民も多く流れ込んでいます。私の家系は、武蔵小杉を含む川崎市中原区を基盤に発展してきました。400年前の江戸時代までさかのぼりますが、初代当主はこの地で穀商を営んでいました。後に米問屋、味噌屋、醤油屋などを経て、明治時代には8代目が銀行を創業しています。現在の不動産賃貸業を始めると、この地域と共に歩んできました。  
亀岡 そうですか。管理業のほうは儲かっていますか？  
原 管理業界に足を踏み込んで



## 電通と県会議員を経て管理業へ

### 原マネジメント(神奈川県川崎市) 原正人社長(57)

### プロフィール

昭和32年8月1日生まれ。神奈川県川崎市出身。同市中原区を基盤とし、この地の名主として栄えてきた原家の12代目当主となる。大学卒業後は電通に入社。36歳で退職後、5代連続となる神奈川県議会議員を務める。音響好きの父親から影響を受け、少年時代はロックやフェュージョンに傾倒。今もライブハウスやコンサートに足繁く通う。

# 全138戸の賃貸・分譲複合住宅を開発

今年1月、再開発が続く神奈川県武蔵小杉エリアに、陣屋の面影を残した賃貸・分譲複合住宅が姿をあらわした。「GATE SQUARE 小杉陣屋町」だ。自宅跡地2000坪に建てられたこの場所を「精神の継承地」とし、永く住まれる場所になりたいと語る原マネジメント(神奈川県川崎市)の原正人社長に話を聞いた。

父の代からです。その父が亡くなった後に、私が管理業を始めました。それと同時に、「KHALA」というブランド名でアパートや住宅、商業ビルなどを展開してきました。これには私の名字である「原」と、中原地区の「かはら」が含まれています。父から事業を継いだこと、開発した物件に統一感がないという印象がありました。その

原 冒頭で話したとおり、大学を卒業した父から「お前も議員になれ」と言われていました。しかし、私はそれに真向から対立した。当時は政治の世界にまったく興味を持ってなかったのです。自分の意見を押し切り、電通に入社しました。  
亀岡 電通ですか。それはなぜ反対されたのでしょうか。  
原 広告取り屋の時代ですから

残すのは父の代までにしてと心に決めました。  
亀岡 お持ちの川崎市立日本人家園の資料によると、「人の土地をふまずに川崎大師や綱島まで行けた」とあります。そのくらい広い土地を相続したのです。原 しかし、後世に残すべきものは、モノではなく精神だと思つたのです。この土地に脈々と根付き、これからも人々の心のよりどころとなるものを残したいと考えています。  
亀岡 この資料には、先代が建てた家を家園に移した、とも書いてありますが。  
原 はい。原家は、大正2年に、現在の小杉陣屋町に建てられました。この家は、川崎を代表する近代和風建築として、市の重要歴史記念物になりました。父の活動を開始するわけですが、知人の人に見てもらおうと決めたのです。現在、自宅跡地である2000坪の土地に全138戸の賃貸・分譲複合住宅「GATE SQUARE 小杉陣屋町」を開発中です。そのうち、賃貸住宅部分は3月16日に無事竣工しました。共用部分の陣屋門プラザは6月12日に竣工予定です。本格的に地味業を始めます。当日は竣工に合わせてパーティーを開催するので、是非いらしてください。

10年目になります。いやあまだですね。  
亀岡 10年目が一番面白いでしょう。管理の仕事にしても、コンセプトを打ち出すことで、地元の方々に覚えてもらい、愛着を持ってもらう。ブランドを育てていくことにしたのです。いずれにしろ、私は分譲でも賃貸でも、管理という部分に非常に大事だと考えています。父は管理会社にまかせっきりでしたが、私は、自分のところは自分で管理しようと思つていました。  
亀岡 昔前は、家主が大きな力を持っていました。しかし、賃貸住宅の地位が上がるとともに、そこに住む入居者も力を持つようになった。家主の経営の仕方に意見を言うようになったのです。家主と入居者、双方の間に何かトラブルがあったときに仲介役となるのが管理会社の仕事。円満な賃貸経営には、管理会社の存在は欠かせませんね。



▲「一流企業のゴルフ番付」の記事で盛り上がる。

ね。入社試験を受けることさえ猛反対されました。それでも電通に入社し、新聞雑誌局、いわゆる新雑に配属されました。  
亀岡 新雑ですか。当時の新雑の人間なら私もよく知っています。成田豊氏(電通第9代社長)のちに会長、最高顧問を務めることには、そこに敬意を払っていました。原 おっ!!これはすごい!電通の黄金時代ですね。私はこの方たちにしかかれ、鍛えられた最後の世代かもしれません。今の電通マンにこの記事を見せてあげたい。

### 父の反対押し切り 広告代理店に入社

亀岡 議員の前は何をされていたのでしょうか。

### 会社概要

- 【会社設立】 昭和47年3月31日
- 【資本金】 3000万円
- 【代表者】 原正人
- 【本社所在地】 神奈川県川崎市中原区小杉陣屋町 1-15-20
- 【事業内容】 不動産事業、都市開発事業、プロモーション・コンサルティング事業